

全体	36
個別	09-01

令和2年度〔水道局（部）〕目標の成果

課名等	水道課
-----	-----

区分	項目	水道料金の収納率向上		
1	【内容】	経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、今年度も前年度に引き続き、新規滞納者の発生予防、納付確約（分納）の取り組み強化、給水停止の強化に取り組みます。		
組織目標	①新規滞納者の減少 ②納付確約（分納）者の取り組み強化 ③給水停止措置の強化			
	【指標】 収納率（現年度分）97.00%を目標に取り組みます。 （令和元年度実績 96.73%）			
2	収納率	令和2年度	令和元年度	対前年度
実績（成果）	現年度分	97.45%	96.73%	0.72%
	過年度分	53.25%	60.07%	▲6.82%
	計	95.23%	94.99%	0.24%
3	○	現年度分については、督促状及び催告、給水停止等の措置を講じることで目標を0.72%上回り、全体の収納率も前年度を0.24%上回る結果となりました。		
評価		しかしながら、過年度分の収納率は前年度と比較し減少する結果となりました。		
4	収納率の向上に向けて、滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行い、また、長期（3か月以上）の滞納者に対しては、給水停止の措置を強化し、納付意識の高揚を図り、水道料金の収納率向上に努めます。			
今後の展開				

全体	37
個別	09-02

令和2年度〔水道局（部）〕目標の成果

課名等	水道課
-----	-----

区分	項目	水道事業の有収率向上		
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>水道事業を経営して行く中で、有収率（浄水場で作られた水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）対策は、重要な課題となっております。</p> <p>市の水道事業の有収率は、近年、70%前後で推移しており、令和元年度は、72.83%と前年度に比べ改善を図ることができましたが、漏水などによりまだまだ浄水場で作られた水の3割程が有効に利用できていない状況です。</p> <p>水道事業の経営安定化のためには、有収率の向上が必要不可欠な課題となっているため、今後も年次的に配水管等の漏水対策を行い、引き続き有収率の向上に努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>令和2年度有収率を、73.10%以上にします。 （令和元年度有収率：72.83%）</p>		
2		有収率		
実績（成果）		令和2年度	令和元年度	対前年度
		72.22%	72.83%	▲0.61%
3	評価	<p>配水管等の漏水調査の実施及び漏水箇所の早期修繕対応などを行いました。令和2年12月及び令和3年1月の寒波による水道管の破裂が多発した影響などにより、前年度を0.61%下回り、0.88%目標値を下回ることになりました。</p> <p>引き続き、老朽管の布設替えや漏水調査・修理等の対応を行い、有収率の向上に努めます。</p>		
		△		
4	今後の展開	<p>今後も、年次的に配水管等の漏水調査・修理等の対策を実施し、更なる有収率の向上を目指します。</p>		